



網河 秀二
(公明党)

**地域防災力強化へ
防災士の育成を**

問 阪神・淡路大震災を教訓にNPO法人日本防災士機構が認証する「防災士制度」が生まれた。

防災士はボランティアで活躍し、地域の防災力向上に貢献しており、東日本大震災でも地域防災力向上の重要性が再認識され、日本各地で防災士の育成に取り組む自治体が増えている。

地域の防災リーダーとして、地域の防災力を強化していくため、防災士の育成を推進していくべきと考えるがどうか。

答 防災に関する知識を多くの市民が身につけることは地域防災力の強化に不可欠であることから、これまでも研修会や講演

会の開催、出前講座、地区防災訓練での指導などを通して人材の育成に取り組んでおり、25年度は「自主防災会役員研修会」を「自主防災会役員・リーダー研修会」に改め、女性の参加も呼びかけながら参加者の拡大を図ったほか、研修内容の充実に取り組んだ。

防災士は、民間の資格として既に取得し活躍している市民もいるが、市としては、各種訓練や救命講習会なども含め様々な機会を通して、より多くの市民に、防災に関する知識や技術を習得していただき人材を育成していく。

その他の質問項目

- ①防災減災対策の推進に向けた建築物の耐震改修 ②公共建築物長寿命化推進計画 ③橋梁長寿命化修繕計画 ④道路施設の長寿命化 ⑤上下水道施設耐震化基本計画 ⑥HUG・DIGの積極的活用 ⑦自主防災組織の活性化 ⑧防災教育の推進 ⑨危機管理部門の機能強化



増淵 一基
(自民党)

空き家条例施行に向け実効性確保を

問 「宇都宮市空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例」は、3月議会において全会一致で可決成立した。

7月から施行され、本格的な空き家対策が始まるが、条例の特徴を生かすため、現在どのような取り組みをしているのか。

答 7月からの条例施行に向け、広報紙や自治会回覧などに加え、地域まちづくり組織や自治会連合会に対し説明を行い、幅広い市民への周知に努めている。

条例の施行後は、指導に加え、命令や緊急措置など、従来よりも個人財産に一步踏み込んだ対応

を行うこともあるため、客観性や公平性の確保が重要になるものと考え、基準などについて庁内の対策委員会で十分に議論を重ねるとともに、建築士や弁護士などの専門家で構成する空き家等対策審議会の答申を踏まえ、条例の適切な運用に向けた準備を行っている。

さらに、空き家等の問題は、地域住民の生活に密着しており、地域との連携・協力による対応が不可欠であるため、管理が不十分な空き家等を発生させない活動に対する地域への補助制度を設けた。



その他の質問項目

- ①市長の政治姿勢（中心市街地の活性化ほか） ②大雪による農業被害対策 ③保健福祉行政（認知症対策ほか） ④ホテル・旅館に対する火災予防対策 ⑤ひとり親家庭への支援 ⑥八幡山公園への指定管理者制度導入 ⑦図書館による地域課題解決支援



舟本 肇
(自民クラブ)

狭い道路の空間確保へ市の指導は

問 狭い道路に面した敷地は、建物の新築・増改築の際に、道路の中心線から2m後退しなければならぬが、後退部分に植木などを植えて、通行を妨げている道路がある。

①植栽も撤去しなければ建築確認済証を交付しないという対応をとる必要があると考えるが、建築確認申請の際の指導は、②常口頃のパトロールを強化し、建築確認時点と違う内容がとられた場合には、厳しい指導と措置を行う必要があると考えるが、見解は。

答 ①建築確認申請前に、建築主などと狭あい道路の後退用地について、市の管理が自己管理かの事

前協議を行っており、後退部分に障害物がないことを確認した上で、建築確認済証を交付している。しかし、後退部分を自己管理している一部の方は、樹木を植えるなど管理不全な状態が見受けられるため、今後とも事前協議時に後退用地を市で管理することへの協力を強く求め、速やかな舗装整備を行うことで、道路空間の確保に努めていく。

②後退用地の所有者などに対し、道路空間を保全することの重要性について文書を送付するなど、意識啓発を図るとともに、現地パトロールを強化し管理不全なものについては、速やかな是正指導を行うことで、実効性の向上に努めていく。

その他の質問項目

- ①市制120周年 ②中心市街地の活性化 ③道路冠水や河川の氾濫箇所の対策 ④都市基盤河川奈坪川改修事業 ⑤子宮頸がん乳がん検診等の受診率向上対策 ⑥高齢者の介護施策